

令和4(2022)年度 事業目標・計画に対する報告(今後の対策)

● R4年度事業目標

- 1、安心して過ごせる場所の提供。
- 2、職員体制が変わるため、新体制の組織作りと職場定着を目指す。
- 3、新規利用者を増やし安定した事業運営を行う。

- 1、問題を抱える利用者への支援(環境調整等)を積極的に行い、事業所で過ごす時間を安心できるものにするために努めた。結果、他の利用者への良くない影響が減り、場が落ち着き、皆が安心して過ごせている。
- 2、施設長が変更し、その他職員も勤務歴の浅い人が多数になった。新体制の組織作りとしては、情報共有をしっかりと行うことから始め、場の雰囲気作りを中心に働きやすい環境整備に取り組んだ。育児を行う職員へは時間の調整ができるよう配慮している。
- 3、令和4年度は新規利用者5名と契約。増収とはならなかったが、体調不良者等での欠席分はカバーできた。12月より、在宅支援を開始し、月平均0.2人増加した。年度末時点で月平均、約0.5人の増加ペースだった。

● R4年度事業計画

- 1、1) 利用者の満足度を高め、「明日も頑張ろう」と思える環境作りに努める。
2) コロナ禍における地域交流の仕方を創造する。
 - 2、1) 研修への参加や資格取得をしながら現場の支援の質の向上に繋げる。
2) 職員間での助け合い、対話を重視し、モチベーションを保てる職場作りを行う。
 - 3、1) 多機能化の検討と準備を行う。
2) ICTの活用で業務効率化を図り、利用者支援を充実させる。
- 1、1) 職員間で声のかけ方を共有し、前向きな声かけを行った。施設のハード面は費用の関係で追い付いていない。
2) 大原校区の行事に感染対策を意識しながら参加した。人権尊重推進協議会へ通年参加。
 - 2、1) Zoomを使用した研修を推奨。受けた研修内容を伝達し支援の質の向上に努めた。
2) ミーティング等で課題と改善策を共有し実行したことで、個々の成功体験ができモチベーションへとつながった。
 - 3、1) 多機能化には人員確保と育成、移転、従たる事業所で主となる生産活動など検討、課題項目が多い。検討する。
2) 機器の最大活用のための個々の知識が不足しているが、支援への導入としては期待できる。

授産への取り組み報告

● 活動目標

- ・ 「コロナリスク軽減」「仕事と工賃の安定提供」を優先し、下請けと自主製品のバランスを取る。
→ マスクの着用によるリスク軽減をしながら工賃の確保と厨房機材の買い替え費用の貯蓄はできた。
- ・ 押し花を応用した作品「押し花文房具」の開発と商品化を行い授産収益につなげる。
→ 下請けに追われながら思うようには進まなかった。次年度に持ち越し。
- ・ 菓子製造部門の収益性を検証し、採算がとれるようにする。
→ 原価を計算しなおし、物価高騰への対応で値上げを行った(シフォンケーキ30円値上げ)

● 課題

- ・ 自主製品はバザーが軒並み中止になり主な収入源は委託販売であった。今後は納品先を開拓し、安定した収入を得る必要がある。
→ 工賃が下請けの売り上げを上回ってしまっている。自主製品の開拓より先にこちらの是正が必要。次年度に取り組む。
- ・ 下請けでは、コロナの影響で突然依頼がなくなる恐れがある。そのリスクヘッジをしておく必要がある。
→ 感染症など今後起こりうることを想定し、ライフラインに関わる下請けの開拓をする必要がある。
チラシ帳合は感染症により仕事量の増加があったことから今後も主として考えられる。

その他報告

● 実習の受入(※新型コロナウイルス感染状況により受け入れ中止の可能性あり)

- 麻生医療福祉専門学校、フチガミ医療福祉専門学校、より実習生を受入れ予定。
→ コロナの影響を受け、実習は特別支援学校からの1名だけだった。

● 研修計画(※新型コロナウイルス感染リスクが高い場合は、オンライン研修を主とする)

- | | |
|-----------------|------------------------------------|
| 精神保健福祉士実習指導者講習会 | メンタルヘルスケア研修 |
| 苦情解決システム研修 | アンガーマネジメント研修 |
| 社会福祉協議会各種研修 | →施設内での虐待防止研修、Zoomによるサービス管理責任者基礎研修、 |
| 虐待防止研修 | 食品衛生責任者講習等を受講。 |

● 年間行事等(新型コロナウイルス感染リスクが低くなるまで基本自粛)

- 昨年同様に、事業所内での映画鑑賞、散歩、買物など、感染リスクが低いものは状況を見て判断。クリスマス会と初詣は行う予定。
→ 夏以降は灯明祭り、ふれあい祭り、クリスマス会、忘年会、初詣といった平時に近い行事を行った。

令和4(2022)年度 事業目標・計画に対する報告(今後の対策)

● R4年度事業目標

①利用者一人ひとりが安心して通所できる関係作り、環境作りを行う。

→作業も大切にしつつ、令和4年は今まで以上に一人ひとりの話に耳を傾け、気軽に相談できるよう日々の声掛けを重視した。その結果、G.Hに初めて入居する方の後押しや日々の生活の悩み等を把握することが出来るようになり、気軽に話せる雰囲気作りが出来た。その一方で話が多くなりすぎて作業に支障を来すこともあったので、次年度はメリハリをつけて必要な相談には応じつつも、作業の促しもバランスよく実施していきたい。

②利用者一人ひとりがやりがいを持って、作業や活動に参加できる支援を行なう。

→作業では新しい作業内容の導入を実施。残数を伝える等を行いながら自分の働きを意識出来るように働きかけた。喫茶においても利用者の意見を求めることにより、『自分の仕事』という意識を持てるよう関わりを継続している段階。

③通所停滞者への働きかけを行なうとともに、新規利用契約を増やすため、各支援者との関係を構築する。

→電話による働きかけに留まり、あまり効果を得られなかった。次年度の継続した課題とし直接的な働きかけを実施したい。

④職員の支援技術の向上を図る。

→ミーティングや都度の支援の相談に応じつつ、対応の助言を行い取り組んでいる状況。今後は研修も導入していきたい。

● R4年度事業計画

①現在の事業所の環境、設備の見直しを行い、目的や意義を考え関係の構築や環境の調整を行う。

→それぞれのスペースの活用について、利用者や職員の意見に耳を傾け、柔軟に状況に対応出来るように変更している。(人数が少ない日にあいで内の休憩室にて作業を実施したり、車椅子の利用者の作業場をあいで内に設ける等)限られた条件下ではあるが既存の方法だけに囚われず、皆が過ごしやすい環境を整えていきたい。

あいで内に喫茶スペースを長年経営してきたが、客数の減少が続いている為、事業所継続の為に今の時代に合った事業内容の検討や設置場所についても、次年度は重点的に検討を加えていきたい。

②各利用者の目標に沿った、作業や活動への促し声掛けを行う。

→現状維持を目標にする方が増えており、日々の過ごし方への支援及び能力低下との付き合い方が課題となる方が増えている為、就労支援だけでなく生活支援についても今後は力を入れ支援を継続していきたい。

③通所停滞者の理由を掘り下げ、原因へのアプローチを行うとともに、関係各所との情報の共有を行う。

→停滞者への支援が今年度は不十分であった為、次年度は実施するようしていきたい。

④外部研修への参加だけでなく、利用者や相談者の事例を掘り下げ事例の検証を積み重ねていく。

→ミーティング内で検討を行ったが、継続した事例の掘り下げにまでは発展出来なかった為、次年度は実施したい。

授産への取り組み報告

①喫茶メニューの見直し

→材料の価格高騰もあり、原価を把握した上で価格の設定や構成の変更、在庫を抱えやすい商品をメニューから削除する等を実施した。その上で、お客様からの要望(紅茶を置いて欲しい、麺メニューが欲しい等)もあった為、何をお客様が求めているのかを把握し、提供できるサービスを検討していくよう心掛けたい。

②他施設授産品の取り入れ

→新規出店は結びつかなかったものの、授産品の陳列の工夫や、お客様への声掛け、既存施設にお客様の声をお伝えする等の工夫により今年度は大幅な売上増加を達成できた。法人内の他事業所の製品についても手に取って頂ける良い機会となると考えられる為、今後も商品の展開等を工夫しながら売上増加を目指したい。

③外販の促進

→コロナの影響により外販の機会自体も少なく、また弁当を作る余力が持てなかった。スタッフ数の問題もあり、現状外に定期的に出ることが難しい為、開所日数の調整やメニューについても改良を行い、外部への展開について検討していきたい。

次年度は福岡市工賃向上支援センターとも協力し、外部での清掃活動やポスティング等新規作業を取り入れ、利用者の意識を向上させるとともに、授産売上を安定的に増やしていけるよう取り組む予定。

その他報告

● 定休日の変更について

今年度より、月曜定休→日曜定休に変更。前半は浸透せず来客少なめであったが、現在では常連客が来店するようになっており、イベントに左右される日曜よりは安定した集客状況となっている。次年度は、6月以降にホール・講堂の天井改装工事が予定されており、週末のイベント予約が無くなること、スタッフ数の減少に伴い休みの確保が難しくなることから、隔週土曜を定休に変更する予定。(毎月第2・4土曜日は認知症カフェとしての場所提供の為開店)

● 実習生受入について

令和4年度は麻生医療福祉専門学校より1名の受入を実施。

次年度は夏にお茶の水医療秘書福祉専門学校より1名の受入予定あり。

● 行事について

舞鶴校区夏祭りに久しぶりに出店し、地域交流が図れた。

食事会や忘年会、お花見等、感染対策を行い出来る範囲でレクを実施した。

令和4(2022)年度 事業目標・計画に対する報告(今後の対策)

● R4年度事業目標

【就労継続支援B型】

※主な事業目標・「利用者職員共にみんなが居心地よく生き生きと過ごせる自由な雰囲気のある場を作る」

報告 最近多様な病名の利用者が増え、それゆえの言葉の行き違い等から、利用者間のトラブルが多かった。職員は仲を取り持つための相談を受けることが多く、利用者間の人間関係の難しさがあつた。

最近は大いぶ落ち着きを取り戻し、穏やかな日々が続くようになった。(今後の対策・利用者から常に目を離さない。)

【生活訓練そらいろ】

※主な事業目標・「安心できる居場所であると同時に夢や目標に向かって前進できる場所を作る。」

報告 少人数であるがゆえ、安心できる環境にある。職員との距離も近く、なんでも相談でき、なんでも話せる雰囲気がある。

長期間家にこもっていてなかなか外に出れなかった利用者が多く、これまでできなかった体験をしてもらえるように

プログラムを工夫している。利用者それぞれが毎月の目標を決め、少しずつ前に進めるように支援している。

在籍期間の期限があり、必ず2~3年後卒業の時を迎えるので、少しでも自立に向けてできることを増やして行けるように

訓練を行っている。(今後の対策・各利用者の見えていない課題を把握し本人と共有したうえで支援)

● R4年度事業計画

【就労継続支援B型】

※主な事業計画・1. 多機能事業所として、B型、生活訓練とも一定の通所者数を確保し、安定した運営を目指す。

2. 対話を増やし、悩みや課題の解決を図り、利用者の安心感を高める。個別支援の充実。

報告 1. 利用者数の減少が大きかった。理由としては退所者が多かった事があり、個人的な事情やコロナによる長期休み続きで来れなくなったり、就職、死亡などの理由が主なものであつた。現在も長期欠席中の利用者が4~5名おられる。

最近は新規利用者も数名入所され、頻回に通所の方が多いので大いぶ安定してきている。(対策・新規利用者の募集)

2. 声掛けを頻回に行うように心がけ、会話の中から課題を引き出し、相談を丁寧に受けている。(対策・個別支援の充実)

【生活訓練そらいろ】

※主な事業計画・「利用者にとって興味を持てるプログラムを作成し、集中して取り組めるよう環境作りに努める。」

報告 専任職員が1名のため、外出や調理実習などのプログラム時はB型の職員と一緒に取り組むことが多かつた。

しかし常時多彩なプログラムを組み続けることは難しく、かなりその内容が制限された。その時々参加者によりできること、

出来ないことが変わっていき臨機応変な対応が求められた。そんな中でプログラムに興味を持ったり、会話の楽しさを感じたりして、家にこもっていた利用者が頻回に通所することができるようになった。(対策・職員の増員が望まれる)

授産・訓練への取り組み報告

● B型活動報告

・作業において利用者が職員の指示がなくても自主的にテキパキ動けるようになった。仕事に対する責任感をもって積極的に作業への取り組みができてきた。

・職員の手がかかりすぎる低単価の作業を廃止し、高単価な作業を新たに取り入れた。目新しい作業に利用者も意欲を持って取り組んでいる。

B型課題

・近辺にB型事業所が増え、見学者が条件を比較しながら選んでいる様子が伝わる。工賃、昼食・送迎代無料などの点を見られており、特にさらなる工賃アップの必要性を強く感じる。

● 生活訓練活動報告

・今年度は多くの利用者が卒業を迎え、在籍者が一気に減少してしまった。新規利用者の入所もあつたが、やはり2年の期限が運営上の厳しい壁となっている。

・畑作業を長く行ってきたが、草取りや維持管理の難しさがあつた。年度末で畑の賃貸契約を解約した。

生活訓練課題

・在籍登録者が減り、最近は見学の問い合わせも少ない。利用者増が課題であり、あと3名の登録者増を目指したい。

その他報告

● 実習の受け入れ

今年度はなし

● 職員研修

サービス管理責任者現任者研修

福祉サービス苦情解決従事者研修

虐待防止研修、メンタルヘルスケア研修(一般職研修)

福祉レクリエーション研修、web研修(運営、利用者対応、授産事業等各種研修)

● 行事

お花見、美術館見学、新年会(焼肉会)、

メガドンキ・木の葉モール買い物ツアー、ジョイフル食事会

● 職員体制

B型 常勤 3名

生活訓練 常勤 1名

B型・・・常勤換算3.8名

B型 非常勤 3名

-

生活訓練・・・常勤換算 1名



令和4(2022)年度 事業目標・計画に対する報告(今後の対策)

● R4年度事業目標

- ・地域で暮らす障がい者やそのご家族をはじめ、地域の方、関係機関、職員が互いにつながり、支え合いながら誰もが安心して過ごせる居場所づくりに努める。
- ・利用者と職員が一体となって地域交流を図り、役割や楽しみを見出せる社会づくりを目指す。
- ・利用者へより良い対応ができるよう、職員は研修会などに積極的に参加する。

● R4年度事業計画

- ・利用者を温かく迎え、安心して過ごせる場の提供に努め、リモートなども取り入れながら相談に対応する。
- ・利用者の想いを形にできるような活動を工夫し、また他の社会資源や地域への連携力を高める。
- ・職員は研修参加などを通して障がいの理解を深めるとともに自己理解にも努める。

➤ 報告

- ・利用者本人の意向を中心に、ご家族や関係機関と積極的に連携した。利用者が閉塞感や孤立感を抱えないよう、相談しやすい環境づくりに配慮し声掛けを行った。利用者よりリモートでの相談を取り入れる計画をしていたが、ビデオ通話に抵抗もあって要望がなく実現に至らなかった。相談は従来通りの電話や来所で行った。
- ・利用や活動の制限の中から、利用者主体で役割や楽しみを見出す多くの工夫が生まれた。地域ボランティアの力を借りて、年間を通して折々に季節行事を楽しんだり、旬の食べ物を味わったりすることができた。
- ・みんなねっとやピアスタッフ関連、精神保健福祉関連の研修、制度に関する研修など、オンラインを含めて県内外の研修会に積極的に参加した。資料などで情報共有しスキルアップに努めた。半期ごとの振り返りで自己理解にも努めた。

I 型事業への取り組み報告

● 目標・課題

1. 個別支援の充実
2. 地域との連携強化
3. 人材育成の強化

➤ 報告

1. 館内の温かい雰囲気づくりに努め、利用者が相談しやすい環境提供を心掛けた。
障がいサービス事業や訪問看護の広がりに伴い、各所と連携して情報共有し利用者が安心して地域生活を送れるよう努めた。フリースペースでは編み物や絵画など熱心に作品制作に打ち込む利用者の姿が見られた。作品展などへの出品も行った。利用者が自分自身をうまく表現し社会とつながるために、「つどい」や「SST」を取り入れた。活動を通して周囲の思いもまた受入れることを学び、利用者同士が繋がる良い機会となっている。
清掃活動には、「自分たちのぷらっと」という意識で毎回多くの利用者が自ら役割を持って参加し、館内美化に努めている。
合同スポーツポッチャ大会で好成績を収めたことを機に月1回ポッチャ大会を行い活気づいている。
レコード鑑賞会・ハンドベルなど、新たな利用者主体の活動が始まった。
救護施設に入所され、ぷらっとに来所できなくなった利用者を月1回送迎して交流を継続している。
2. 利用者、地域ボランティア、職員が共にフリースペースで過ごしたり活動を行うことで、障がいへの理解の促進につながった。
地域ボランティアの力を借りて、利用者の心の安定のため手作りの食事提供に力を入れた。
地域の音楽先生がピアノのミニコンサートを開いてくださり、利用者さんに大変喜ばれている。
ひきこもりの方がご家族と利用者同士の繋がりから野球観戦を数回楽しまれ、家族会の大切さを強く感じた。
『みんなの集い』では、キャッチコピー、ポスター、司会、垂れ幕、歌などで、ぷらっとの利用者が活躍した。
3. 研修や振り返り、意見交換を通して、利用者理解とともに自己覚知を深めた。市内・区内の各種会議やピアスタッフの集いなどで他事業所と連携を取り情報交換を行った。各自が持てる力を精一杯発揮できている。

その他報告

● 実習生の受入

九州医療専門学校と西南学院大学より計2名の実習生を受け入れた。

そのほか、西南学院大学より1日体験実習生を計7名受け入れた。

実習生に精神保健についての理解を深めてもらうと同時にスタッフも改めて学びを深める良い機会となった。

● 居住サポート事業

地域にグループホームの新設が進み入居者が増えており、見学同行や必要な手続きに関する相談、転居後の生活に関する支援等を行った。その他、一人暮らしの住居探し、生活相談や近隣トラブル等の相談にも応じた。

● 資金不足解消のための取り組み

令和5年8月に現建物の近くに移転することとなった。建物賃借料を抑えることで資金不足を解消し、支援の充実を図る。

移転先でも『みんなで作るぷらっと』を合言葉に、家庭的で利用者が安らげる居心地の良い空間づくりを目指す。

就労はもとより来所も難しい利用者にも支援が行き届くような新規事業の立ち上げも引き続き検討している。

R4 事業報告

つばめ工房 原作業所 (B型) 1日平均利用者数 実績表 (就労継続支援B/生活訓練)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
登録数	3年度	31.0	29.0	29.0	29.0	28.0	28.0	27.0	28.0	27.0	25.0	24.0	22.0	/
	4年度	23.0	25.0	23.0	23.0	23.0	24.0	24.0	24.0	24.0	24.0	24.0	24.0	
平均	3年度	15.8	14.5	13.4	13.0	12.2	12.9	12.8	13.4	13.3	12.5	10.4	10.5	12.9
	4年度	11.3	11.6	11.1	10.4	10.8	10.5	11.0	10.8	10.7	10.4	9.5	10.3	
内訳	通所	11.3	11.6	11.1	10.4	10.8	10.5	11.0	10.8	10.5	9.7	8.9	9.7	10.5
	在宅支援	/	/	/	/	/	/	/	/	0.2	0.7	0.6	0.6	

喫茶レストラン オアシス (B型)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
登録数	3年度	21.0	20.0	19.0	18.0	19.0	19.0	19.0	19.0	18.0	18.0	17.0	17.0	/
	4年度	21.0	21.0	22.0	22.0	22.0	22.0	23.0	23.0	22.0	22.0	22.0	22.0	
平均	3年度	5.2	6.0	6.3	6.0	6.7	7.2	6.4	6.0	6.0	5.7	5.4	5.2	6.0
	4年度	6.5	5.6	6.0	5.8	6.2	6.0	5.7	6.2	6.3	5.2	5.6	6.3	
内訳	通所	5.7	5.6	6.0	5.2	5.4	5.9	5.5	5.7	6.0	5.0	5.3	6.1	5.6
	在宅支援	0.8	0.0	0.0	0.6	0.8	0.1	0.2	0.5	0.3	0.2	0.3	0.2	

ピアつばめ (B型)

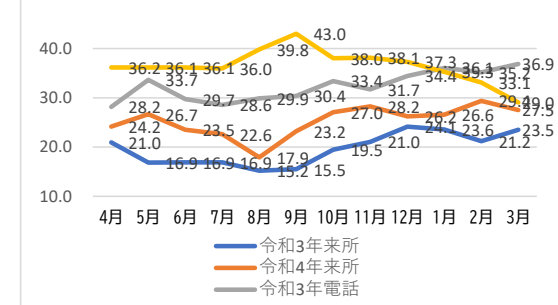
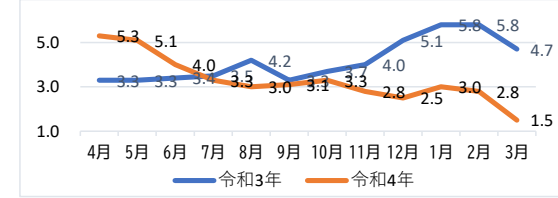
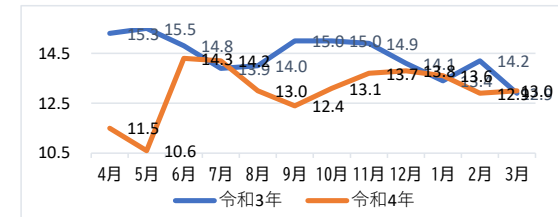
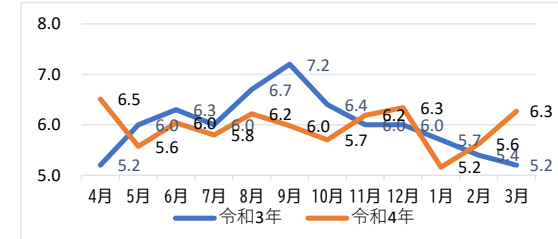
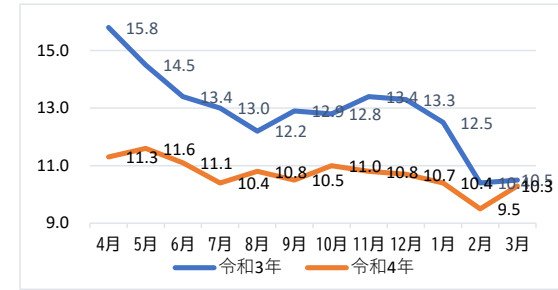
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
登録数	3年度	27.0	27.0	28.0	28.0	27.0	28.0	27.0	27.0	26.0	27.0	26.0	26.0	/
	4年度	27.0	25.0	26.0	27.0	27.0	27.0	28.0	27.0	25.0	24.0	23.0	22.0	
平均	3年度	15.3	15.5	14.8	13.9	14.0	15.0	15.0	14.9	14.1	13.4	14.2	12.9	14.4
	4年度	11.5	10.6	14.3	14.2	13.0	12.4	13.1	13.7	13.8	13.6	12.9	13.0	

そらいろ (生活訓練)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
登録数	3年度	8.0	8.0	8.0	8.0	9.0	8.0	9.0	11.0	12.0	13.0	13.0	12.0	/
	4年度	12.0	12.0	10.0	8.0	8.0	7.0	6.0	6.0	6.0	5.0	5.0	4.0	
平均	3年度	3.3	3.3	3.4	3.5	4.2	3.3	3.7	4.0	5.1	5.8	5.8	4.7	4.2
	4年度	5.3	5.1	4.0	3.3	3.0	3.1	3.3	2.8	2.5	3.0	2.8	1.5	

ぶらっと 1日平均来所者数・電話相談件数 実績表 (地域活動支援センター)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
登録数	3年度	77	80	82	83	84	86	88	39	62	66	71	77	/
	4年度	83	87	90	90	92	92	93	38	64	71	76	79	
来所者数	3年度	21.0	16.9	16.9	16.9	15.2	15.5	19.5	21.0	24.1	23.6	21.2	23.5	19.6
	4年度	24.2	26.7	23.5	22.6	17.9	23.2	27.0	28.2	26.2	26.6	29.4	27.5	
電話相談	3年度	28.2	33.7	29.7	28.6	29.9	30.4	33.4	31.7	34.4	36.1	35.2	36.9	32.3
	4年度	36.2	36.1	36.1	36.0	39.8	43.0	38.0	38.1	37.3	35.3	33.1	29.0	



*R5年度 人員体制表

本部	西村
	井上
	平田
原作業所	狩塚
	木村
	栗山
	須佐
	大町
オアシス	伊藤
	高瀬
	中津留
	森山
ピアつばめ	岸良
	吉田
	荒木
	森野
	長岡
	狩塚
	佐伯
ぶらっと	田中
	斎藤
	山下
	森田
	手島
基幹	西村
	鶴田
	大神
	神谷
	篠原
	岩田

計30名

【西区】

区ごとのネットワークの構築

『西区障がい者等サポートネットワーク』

(西サポネット)の運営

【目的】

『横のつながり・顔のみえる関係』を築くことで、関係機関が単独で抱えていることや、困り事を共有し、日々の支援に役立つネットワーク作りを行う。

『事業種別活動』

【児童通所系】

・児童虐待について、支援者の着眼点、虐待の疑いのある家庭の兆候などを、事例を通し学ぶ。

・支援力向上を図るため、行動分析学についての研修を日中活動系と共同開催。

【日中活動系】

・今津特別支援学校の現状と、卒後の進路が不足していることについて共有と解決方法の検討を行う。

・行動分析学についての研修を開催し、支援力向上を図る(児童通所系と共同)。

【訪問系】

訪問系事業所が抱えている困りごと解決に向けた活動を行う。訪問系事業所に特化した虐待に関する研修等検討中。

【施設入所系】

区内事業所、職員の連携、情報共有のため、日中活動系と連携を取りながら活動を行う。

【医療系】

西区訪問看護ステーション連絡会と共同し、障害福祉サービス事業所と連携した支援体制構築を目指す。

【居住系】

定期的な情報共有、課題検討(整理)の実施

事業所同士の関係性構築・深化

【就労系】

「支援力の向上」をキーワードに、実際の支援を振り返り、課題の共有、検討を行う。

【医療的ケア児・者】

*区部会委員、有識者

→地域課題の精査を行い、ネットワークを活用した対応を考察していく。

区内の相談支援事業所のネットワークの構築・専門的な指導・助言・人材育成

『西区相談あつまろう会の実施』

【目的】

(1) 相談支援専門員・相談員間の連携強化

(2) 相談支援専門員・相談員の知識・支援力向上

【開催日及びテーマ】

「住まいの支援について～アセスメント編」

【目的】ライフステージによって住まいの場が変わる際、支援の組み立てに必要なアセスメントのポイントを学ぶ。

「医療との連携」

*区部会:健康課と共催

【目的】医療機関との研修会を通じ、お互いの業務の理解をする。

「介護保険との連携」

*地域包括支援センターと共同

【目的】障がい福祉サービスから介護保険に移行する際の事例検討をし、お互いの分野の仕組みを学ぶ。

『専門的な指導・助言』

ケース等相談があった場合に、適宜対応する(事例検討・ケース会議参加、助言等)

→基幹センターと指定特定の役割分担をし、共同で支援を行う関係の構築を目指す。

地域福祉の基盤づくり

『ペアレントメンターカフェ』

*区部会、ゆうゆうセンター、基幹センターで実施

【目的】

発達障がいのある子を育てている保護者の孤立防止、気持ちの共感をする場の提供

【対象】

①西区在住のゆうゆうセンターに相談をしている保護者

②西区の通級指導教室に通う保護者

*対象を分けて、別日開催予定。

『ひだまりぐらし』

*内浜中学校SSW、ひだまりの会

【目的】

不登校児の居場所づくり、学校以外での社会参加の場づくり

『ゆうゆう・よかよか合同勉強会』

【目的】

発達障がい、引きこもり、障がいの3センターで互いの情報や役割を理解し、共同支援をスムーズに行っていく

『いきいきセンターSWとの情報交換会』

【目的】

いきいき支援センターとの共同支援をスムーズに行う。

『特別支援教育連携協議会』への参加

【目的】

西区の学校の教育関係者との意見交換や連携

『民生委員児童委員協議会』との連携

【目的】

顔の見える関係づくりと、勉強会や意見交換会への積極的参加。

緊急時の対応についての取り組み

『西区部会防災対策検討委員会』

*区部会委員(区社協、西部療育センター)、総務部防災安全安心室で構成

【目的】

自助の意識UP→個別支援計画の作成+要支援避難者名簿の推進→地域と福祉サイドの情報の共有を目指す。

一人ひとりが災害対策を考え、協力者と共に防災に取り組む意識を持つように、研修を企画し、西サポネットを活用していく。

『「緊急時受け入れ対応拠点」の再周知』

【目的】

新規事業所の設立があっているため周知し、拠点の理解と事前登録を推進する。

第21の3 市町村における相談支援

障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律

(相談支援を利用している障害者等の人数)

	実人員	身体障害	重症心身障害	知的障害	精神障害	発達障害	高次脳機能障害	その他
障害者	732	71	4	139	337	97	15	69
障害児	10	0	0	5	1	10	0	0
計	742	71	4	144	338	107	15	69

(支援方法)

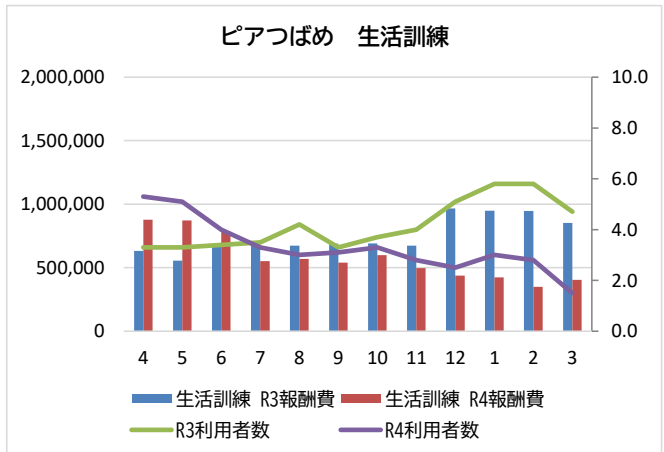
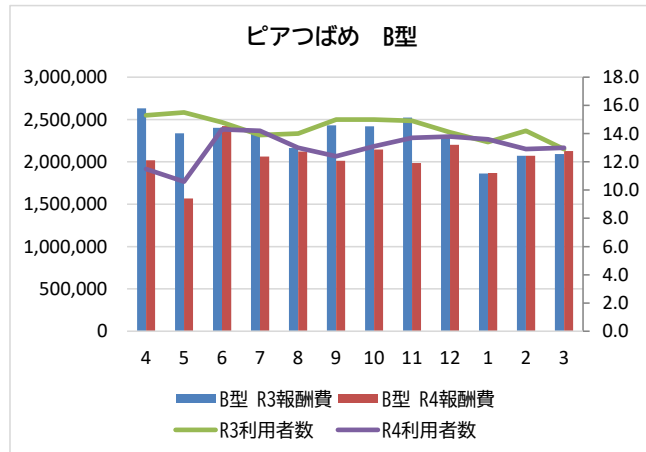
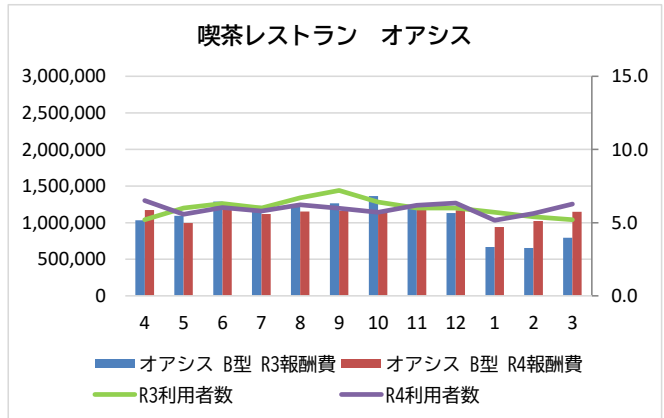
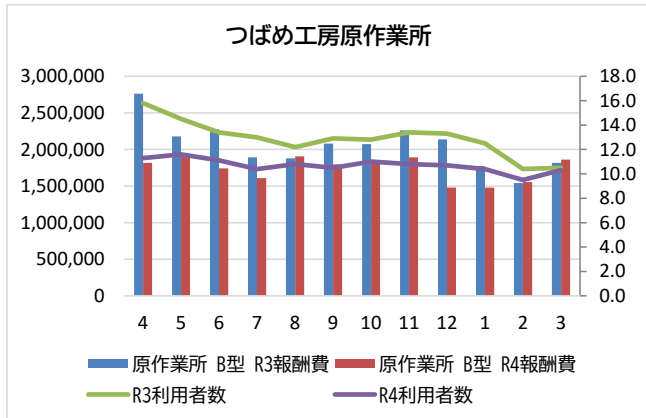
	訪問	来所相談	同行	電話相談	電子メール	個別支援会議	関係機関	その他	計
件数	282	51	105	1157	52	28	1019	124	2,818

(支援内容)

	福祉サービスの利用等に関する支援	障害や病状の理解に関する支援	健康・医療に関する支援	不安の解消・情緒安定に関する支援	保育・教育に関する支援	家族関係・人間関係に関する支援	家計・経済に関する支援	生活技術に関する支援	就労に関する支援
件数	1446	565	541	1109	99	563	338	400	199

	社会参加・余暇活動に関する支援	権利擁護に関する支援	その他	計
件数	46	55	585	5,946

報酬費	原作業所			オアシス			ピアつばめ					
	B型			B型			B型			生活訓練		
	R3報酬費	R4報酬費	前年差額	R3報酬費	R4報酬費	前年差額	R3報酬費	R4報酬費	前年差額	R3報酬費	R4報酬費	前年差額
4月	2,762,088	1,815,736	-946,352	1,032,480	1,172,076	139,596	2,630,447	2,019,080	-611,367	633,025	878,107	245,082
5月	2,178,813	1,922,569	-256,244	1,095,149	994,852	-100,297	2,336,824	1,566,432	-770,392	555,495	872,781	317,286
6月	2,277,405	1,743,197	-534,208	1,287,533	1,221,005	-66,528	2,402,750	2,422,855	20,105	672,450	785,128	112,678
7月	1,891,364	1,609,398	-281,966	1,229,746	1,118,066	-111,680	2,382,008	2,062,397	-319,611	698,471	550,845	-147,626
8月	1,878,495	1,905,254	26,759	1,215,627	1,150,945	-64,682	2,162,674	2,120,802	-41,872	673,828	570,014	-103,814
9月	2,079,014	1,798,125	-280,889	1,265,970	1,162,671	-103,299	2,430,919	2,013,794	-417,125	688,737	540,436	-148,301
10月	2,073,070	1,811,359	-261,711	1,362,009	1,151,275	-210,734	2,420,242	2,145,128	-275,114	691,140	598,498	-92,642
11月	2,259,633	1,892,620	-367,013	1,195,648	1,252,143	56,495	2,523,322	1,985,396	-537,926	674,379	496,605	-177,774
12月	2,138,532	1,478,130	-660,402	1,131,203	1,167,438	36,235	2,281,215	2,200,919	-80,296	967,158	437,693	-529,465
1月	1,774,227	1,478,130	-296,097	668,757	941,258	272,501	1,863,024	1,867,106	4,082	948,697	423,778	-524,919
2月	1,541,612	1,554,467	12,855	654,835	1,023,865	369,030	2,071,857	2,071,099	-758	947,298	349,203	-598,095
3月	1,815,903	1,862,201	46,298	794,276	1,149,743	355,467	2,093,505	2,127,447	33,942	853,321	404,800	-448,521
合計	24,670,156	20,871,186	-3,798,970	12,933,233	13,505,337	572,104	27,598,787	24,602,455	-2,996,332	9,003,999	6,907,888	-2,096,111
月平均	2,055,846	1,739,266	-316,581	1,077,769	1,125,445	47,675	2,299,899	2,050,205	-249,694	750,333	575,657	-174,676
半年平均		3,478,531			2,250,890			4,100,409			1,151,315	



利用者数 前年比(令和3, 4年)

1日平均利用者数 実績表(就労継続支援B/生活訓練)

通所者	原作業所			オアシス			ピアつばめ					
	B型			B型			B型			生活訓練		
	R3利用者数	R4利用者数	前年差	R3利用者数	R4利用者数	前年差	R3利用者数	R4利用者数	前年差	R3利用者数	R4利用者数	前年差
4月	15.8	11.3	-4.5	5.2	6.5	1.3	15.3	11.5	-3.8	3.3	5.3	2.0
5月	14.5	11.6	-2.9	6.0	5.6	-0.4	15.5	10.6	-4.9	3.3	5.1	1.8
6月	13.4	11.1	-2.3	6.3	6.0	-0.3	14.8	14.3	-0.5	3.4	4.0	0.6
7月	13.0	10.4	-2.6	6.0	5.8	-0.2	13.9	14.2	0.3	3.5	3.3	-0.2
8月	12.2	10.8	-1.4	6.7	6.2	-0.5	14.0	13.0	-1.0	4.2	3.0	-1.2
9月	12.9	10.5	-2.4	7.2	6.0	-1.2	15.0	12.4	-2.6	3.3	3.1	-0.2
10月	12.8	11.0	-1.8	6.4	5.7	-0.7	15.0	13.1	-1.9	3.7	3.3	-0.4
11月	13.4	10.8	-2.6	6.0	6.2	0.2	14.9	13.7	-1.2	4.0	2.8	-1.2
12月	13.3	10.7	-2.6	6.0	6.3	0.3	14.1	13.8	-0.3	5.1	2.5	-2.6
1月	12.5	10.4	-2.1	5.7	5.2	-0.5	13.4	13.6	0.2	5.8	3.0	-2.8
2月	10.4	9.5	-0.9	5.4	5.6	0.2	14.2	12.9	-1.3	5.8	2.8	-3.0
3月	10.5	10.3	-0.2	5.2	6.3	1.1	12.9	13.0	0.1	4.7	1.5	-3.2
合計	154.7	128.4	-26.3	72.1	71.4	-0.7	173.0	156.1	-16.9	50.1	39.7	-10.4
月平均	12.9	10.7	-2.2	6.0	6.0	-0.1	14.4	13.0	-1.4	4.2	3.3	-0.9